

国立病院機構 福山医療センター レジメン登録・管理表

レジメン名称	消化器内科 Ramcirumab+CPT-11療法（臨床試験）		臨床区分 ☐ 日常診療 ☐ 単施設自主研究 ☒ 他施設自主研究 ☒ 市販後臨床研究 ☐ 治験	抗癌剤適応分類 ☒ 進行・再発化学療法 ☐ 術後化学療法 ☐ 術前化学療法 ☐ 局所療法 ☐ その他	登録日	2017年8月1日
疾患名	胃癌					
診療科名	消化器内科					
登録医師名	豊川 達也					
			1クール期間	14日		
			実施回数	/回		

Rp	薬品名称	標準投与量	単位	投与方法	ルート	投与時間	投与日										注意コメント
							day1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
1	レスタミンコーワ錠10mg	5	錠	経口			●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	サイラムザ投与開始30分前までに内服
2	生理食塩液	100	mL	点滴静注	メイン		●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	血管確保用 ※開始から終了までECGモニターを装着すること
3	グラニセトロン点滴静注液3mgバック	1	袋	点滴静注	メイン	30min	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	レスタミンと同時投与（レスタミン内服不可患者には医師に確認
	デキササート注射液 6.6mg	1.5	瓶														
4	生理食塩液	適宜調製	mL	点滴静注	メイン	60min	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1) フィルター付き点滴セット使用 2) 投与速度：25mg/minを超えないこと 3) 1クール目、2クール目は終了後1時間観察すること※3クール以降は省略可 4) 投与前後で生理食塩液でラインをフラッシュすること 5) 全量250mLに調製する
	サイラムザ点滴静注液	8	mg/kg														
5	生理食塩液	500	mL	点滴静注	メイン	90min	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	イリノテカン点滴静注液	150	mg/m2														

備考欄
 イリノテカン投与不可または延期の場合、1週毎に投与可否を判断する。その場合、サイラムザは2週連続投与が許容される。サイラムザを2週連続投与後は2週間休業すること。

減量・中止基準

文献
 Ramucirumab抵抗性進行胃がんに対するramucirumab+irinotecan併用療法のインターグループランダム化第Ⅲ相試験（RINDBeRG trial）